

# 簡単なメンテナンス

## エンジンオイル

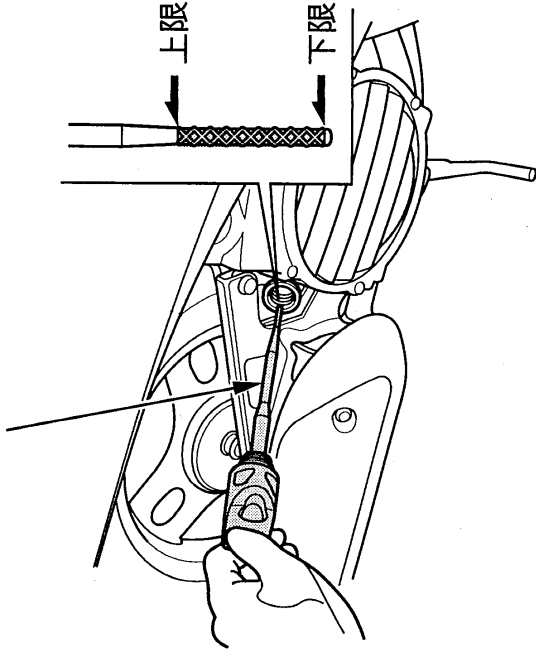
エンジンの性能を維持するためには、定期的なエンジンオイルの点検・補給が必要です。汚れたオイルや古くなったオイルは、エンジンに悪影響を与えますので、早目に交換してください。

エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

### 《オイル量の点検》

1. 平坦地でメインスタンドを立て、エンジンを2～3分間アイドリングさせます。
2. エンジン停止2～3分後にオイルレベルゲージを外します。
3. 布等でオイルレベルゲージについたオイルを拭きます。
4. オイルレベルゲージをねじ込まず差し込みます。
5. オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認します。オイル量が下限に近かったら、上限まで補給します。
6. エンジンオイルの補給は、次ページ参照。オイルレベルゲージを確実に取付けます。

オイルレベルゲージ



相当品をご使用の場合  
 オイル容器の表示を確認し、下記のすべての規格を満たしているオイルをお選びください。

- API分類:SG、SH、SJ 級相当
- JASO規格(二輪車用オイル規格):MA
- SAE規格:外気温に応じ次ページの表から選択

なお、API分類がSG、SH、SJ 級でも特性が微妙に異なりこの車に適合しない場合があります。

### 《オイル量の補給》

#### 推奨オイル

ホンダ純正オイル(4サイクル二輪車用)

	ウルトラU	ウルトラ SUPER 8
API 分類	S J 級	S J 級
JASO 規格	MA	MA
SAE 規格	10W-30	10W-40

### ⚠️ アドバイス

- 銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。また、低品質オイルは使用しないでください。オイルの変質などにより、この車本来の性能が発揮できなばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。